

# 芸術活動助成申請書記入例（申請者が個人やグループの場合）

全部で4ページ以内  
に収まるように  
作成して下さい

公益財団法人朝日新聞文化財団

芸術活動助成申請書(音楽)

2016年9月10日

申請者名・申請団体名		朝日太郎		個人の場合は個人名を、グループの場合にはその代表者個人として登録・ご記入下さい	
代表者名(団体の場合のみ)					
申請者住所		〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館6階			
TEL	03-6269-9441	FAX	03-6269-9442	E-mail	jimukyoku@asahizaidan.or.jp
事業名	朝日太郎と仲間たちバイオリンリサイタル			名称未確定の場合は「〇〇〇(仮称)」として下さい	
会場名	浜離宮朝日ホール				
会場所在地	東京都中央区築地				
開催日(期間)	2017年10月1日				
事業総額(単位:円)	2,000,000円		助成申請額(単位:円)	300,000円	

### <入場者・来場者の見込み数(総数)と入場料>

550人	入場	無料	有料	○	2,000円～	4,000円
------	----	----	----	---	---------	--------

### <事業の主催者が申請者ではない場合の主催者情報と申請者との関係>

主催者名	例えば、「〇〇ビエンナーレへの出展」「□□音楽祭への客演」などがこのケースに該当します。「関係」欄は「公募による出展」や「主催者からの招聘」などとして下さい		TEL	
(同)住所				
申請者との関係				

### <他の共催者・後援者・助成者・協賛社(予定含む)>

代表的な名称のみの記載で結構です

共催		後援	
助成	文化庁、朝日ウィスキー財団	協賛	

### <事業の収支見込み>

単位=円

支 出	金 額	収 入	金 額
会場費・設営費	450,000円	入場料	1,200,000円
制作費・製作費	300,000円	寄附金	
出演料・謝金	250,000円	協賛金	
旅費・交通費	200,000円	公的補助金	100,000円
プログラム等制作費	150,000円	他の民間助成金	200,000円
郵送・運搬費	150,000円	物品販売売上	
広告宣伝費	300,000円	広告料収入	
	円		
その他の費用	200,000円	★助成申請額	300,000円
支出合計	2,000,000円	自己負担金	200,000円
		収入合計	2,000,000円

科目名は書き換えないで、該当すると思われる科目名を選んで金額を下さい。ここに記載されていない重要科目や、合計額の20%以上を占める科目がある場合には空欄に追加して下さい。

# 芸術活動助成申請書記入例（申請者が個人やグループの場合）

## <事業の企画意図> ※3行以内で簡潔に説明してください

〇〇新進芸術家賞を受賞した朝日太郎とその仲間たちによるリサイタル。今回は日本では演奏される機会の少ない「北欧のピアノ詩人」と呼ばれる〇〇〇〇のバイオリン作品に絞った楽曲構成とし、詩人による関連作品の朗読も加え、〇〇〇〇の新しい魅力を再発見したい。

## <助成申請する事業・活動の内容>（曲目・主な出演者・スタッフ等）

### 【開催概要】

開催日：2017年10月1日午後2時開演

会場：浜離宮朝日ホール（東京都中央区築地）

出演：朝日太郎（バイオリン）、XXXX（バイオリン）、YYYY（ヴィオラ）、ZZZZ（チェロ）、WWWW（ピアノ）

プログラム：

序章：〇〇〇〇（詩）の朗読（海野六郎）

第1部 〇〇〇〇初期バイオリンソナタの世界

作品xx番「〇〇〇〇」

作品yy番「△△△」

作品ZZ番「□□□□」

第2部 □△〇×の影響

弦楽四重奏第XX番

序曲「〇〇〇〇」より抜粋（編曲：朝日太郎）

第3部 〇〇〇〇の神髄

バイオリン協奏曲第X番より（編曲：朝日太郎）

### 【プログラムの内容と構成について】

今回のプログラムは詩の朗読を序章に加えた3部構成とし、第1部は比較的初期の〇〇〇〇のバイオリンソナタから3曲を厳選。第2部では〇〇〇〇に大きな影響を及ぼしたとされる□△〇×の、その痕跡が比較的よくわかる弦楽四重奏作品と、小品ながらその名声を確立するにいたった序曲「〇〇〇〇」からいくつかの重要な部分を抜粋、朝日太郎の弦楽四重奏に編曲した作品を演奏する。第3部では、晩年のバイオリン協奏曲第X番を朝日太郎の再構成と編曲で送る。

これらにより〇〇〇〇がいかにバイオリンを愛し、重視していたかを浮き彫りにするとともに、生誕〇〇年を控えて〇〇〇〇の新たな魅力の発掘となるコンサートとしたい。

また、各楽曲の解説中心とした無料プログラム（パンフレット）を会場で配布し、演奏前には朝日太郎のショートレクチャーコーナーを設け、聴衆の作品理解の助けになるようにする。

### 【広報について】

- ・各マスコミにプレスリリースを出すほか、主要な音楽大学にDMやポスターを送付してPRします。
- ・特設ホームページ：<http://www.asahitarou.com/top/>

これら赤字で記載されている注意書きは提出前に削除してください。

☆事業の全体像が分かるように、具体的な内容を記載して下さい。  
☆この枠内で収まるように記入し、補足説明は4ページ目に記入して下さい。

☆事業のホームページがあればURLを記載して下さい。但しリンクを記入することで説明を省略・代用することはできません。（悪い例：詳細は<http://www.xxxx.com>をご覧ください→×）

## 芸術活動助成申請書記入例（申請者が個人やグループの場合）

### <申請者に関する事項> 氏名・名称 朝日太郎

団体種別・現職	バイオリニスト・〇〇芸術大学客員教授	
団体の目的・専門分野	バイオリンの演奏、演奏会の企画	
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）
	1992年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇音楽祭新人賞受賞
	1993年4月	文化庁派遣によりアメリカ〇〇音楽院に留学
	1996年4月	帰国後、〇〇芸術大学大学院博士課程入学
	1999年3月	同学終了。音楽学博士号を取得。〇〇ホール（東京）でリサイタル
	2005年10月	〇〇芸術祭最高賞を受賞
	2007年9月	〇〇フィルハーモニー管弦楽団（東京）に就任
	2010年4月	渡欧。ヨーロッパ縦断ツアーを10都市で開催

代表的な経歴や受賞歴などを記載して下さい。行数や枠の数は増やさないようお願いします。

### <主な出演者等に関する事項>① 氏名・名称 山田太郎

現職	バイオリニスト	専門分野	バイオリン
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）	
	1984年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人賞受賞	
	1987年4月	ベルリン、ウィーンに私費留学し〇〇〇氏、MMM氏らに師事。	
	1992年3月	〇〇芸術大学大学院博士課程終了。〇〇ホール（東京）でリサイタル	
	2000年10月	◎◎芸術院奨励賞を受賞	
	2010年6月	◎◎芸術院賞を受賞	

出演者の代表的な経歴・受賞歴を記載して下さい。行数は増やさないようお願いします。

### <主な出演者等に関する事項>② 氏名・名称 山田花子

現職	音楽家、〇〇音楽大学教授	専門分野	ヴィオラ、音楽史
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）	
	1984年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人賞受賞	
	1987年4月	ベルリン、ウィーンに私費留学し〇〇〇氏、MMM氏らに師事。	
	2000年10月	◎◎芸術院奨励賞を受賞	

### <主な出演者等に関する事項>③ 氏名・名称 朝日二郎

現職	ピアニスト	専門分野	ピアノ
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）	
	1984年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人賞受賞	
	1987年4月	ベルリン、ウィーンに私費留学し〇〇〇氏、MMM氏らに師事。	
	2000年10月	◎◎芸術院奨励賞を受賞	

### <主な出演者等に関する事項>④ 氏名・名称 朝日三郎

現職	東都交響楽団第一チェリスト	専門分野	チェロ
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）	
	1984年3月	〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人賞受賞	
	1987年4月	ベルリン、ウィーンに私費留学し〇〇〇氏、MMM氏らに師事。	
	1992年3月	〇〇芸術大学大学院博士課程終了。〇〇ホール（東京）でリサイタル	

## 芸術活動助成申請書記入例（申請者が個人やグループの場合）

### <主な出演者等に関する事項>⑤ 氏名・名称 海野四郎

現職	東都交響楽団コントラバス奏者	専門分野	コントラバス
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）	
1984年3月		〇〇芸術大学大学院修士課程終了。同年〇〇〇新人賞受賞	
1987年4月		ベルリン、ウィーンに私費留学し〇〇〇氏、MMM氏らに師事。	
1992年3月		〇〇芸術大学大学院博士課程終了。〇〇ホール（東京）でリサイタル	

### <主な出演者等に関する事項>⑥ 氏名・名称 海野六郎

現職	詩人	専門分野	語り
経歴	年月	履歴（主な学業・芸術活動歴・受賞歴／団体の設立・活動歴など）	
1989年3月		〇〇文学大学大学院修士課程終了。同年H氏賞受賞	
1995年4月		現代詩人賞受賞	
2013年4月		〇〇文学大学教授	

☆「主な出演者等・・・」を追加したいときは、この枠をコピーし、他の枠の行数を少なくするなどして4ページ以内に収まるように工夫してください。そのほかに出演者・出展者等は、以下の「その他」欄で補足して下さい。

### <申請する事業が社会に与える影響>

周知のとおり〇〇〇〇はピアノの詩人と呼ばれ、殊に日本ではピアノ作品のみが注目を集め、演奏される機会も圧倒的に多い。このコンサートを通じて〇〇〇〇の新たな魅力を発掘し、また、バイオリンの新しい魅力を発見した作曲家としての功績をクローズアップすることで、日本における〇〇〇〇のファンの拡大やその研究の進化を促進する起爆剤となることが期待でき

当財団による助成を受けたことを、どのような形で公表するのかを記載して下さい。現物をお送りいただくとともに、結果を事業報告書に記載していただきます。

### <助成の公表方法>

チラシ、ホームページ、パンフレットに「助成：公益財団法人朝日新聞文化財団」と記載します。また、プレスリリース資料に同様に記載します。

### <その他、申請にあたって伝えたい事項、事業の内容に関する補足説明など>

出演する演奏家は、上記のプロフィール以外に、国内各地で様々なコンサート活動の携わるとともに、今回の企画のようなレクチャー付コンサートを数多く開催して、クラシック音楽のファン層の拡大や教育的貢献を行っている集団です。

特に今回のコンサートでは比較的高度な音楽史的内容も扱うため、学生券の設定を行い、各音楽大学に委託して割引販売も行います。

以上